

内閣府
食品安全委員会
事務局 殿

令和5年度
食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う
食品安全に関する
情報発信・リスクコミュニケーションの
強化に関する調査

報告書

令和6年3月
日本エヌ・ユー・エス株式会社

調査概要

食品安全委員会では、食品安全に関する様々な関係者の食品安全に関する科学的知見に対する理解を促進することを目標の一つとした情報発信及びリスクコミュニケーションを行っている。令和2年度には、現状把握及びより効果的な手法・内容の検討の基礎とするため、一般消費者を対象とした意識調査を実施した。この結果を踏まえ、より効率的な情報発信・リスクコミュニケーションのためには、食品安全委員会自らによる報道関係者や一般消費者に向けた活動に加え、地域の報道関係者や、事業者、学生、地域住民等に直接アクセスすることができる地方自治体等が、より積極的に情報の発信・リスクコミュニケーションに関与し、科学的に適切な情報の流通量を増やすことが必要と位置づけた。

令和4年度調査では、主に地方公共団体の衛生管理部門や消費者部門等と食品安全委員会が連携して情報発信・リスクコミュニケーションを行うためのツールの開発に向けた検討を行い、①地方自治体が行う情報発信・リスクコミュニケーションに関する考え方を整理した解説、②実際の情報発信・リスクコミュニケーションの支援ツールの2種類のツールの骨子案を作成した。

本調査では、令和4年度調査の結果を踏まえ、地方自治体が行うリスクコミュニケーションの目的及び目的を達成するための3つの活動に関するガイド「食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて」、食品安全関係素材集（スライド形式）、リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット、情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキットを作成した。

作成したツールは、食品安全に関するリスクコミュニケーションの実施体制が異なる都道府県、政令指定都市、中核都市の3自治体への情報提供を行った。また、3自治体からツールに対する評価・意見を収集し、ツールを改訂した。

令和5年度
食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う
食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に
関する調査報告書

目次

1. 調査概要	1
1.1 調査の背景・必要性.....	1
1.2 作業内容	1
(1) 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、 リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発	1
(2) 情報提供、リスクコミュニケーションの試行と効果の測定	1
(3) 試行を踏まえた効果の測定方法の見直し、ツールの完成、 ツール作成時の留意点のとりまとめ	2
(4) 調査結果の報告等.....	2
(5) 成果物の作成.....	2
2. 調査結果	3
2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、 リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発.....	3
2.2 情報提供、リスクコミュニケーションの試行と効果の測定	12
(1) 情報提供及び効果の測定.....	12
(2) ツールに対する評価結果.....	12
2.3 試行を踏まえた効果の測定方法の見直し、ツールの完成、 ツール作成時の留意点のとりまとめ.....	15

1. 調査概要

1.1 調査の背景・必要性

食品安全委員会が行う情報発信及びリスクコミュニケーションは、食品安全に関する様々な関係者の、食品安全に関する科学的知見に対する理解を促進することを目標の一つとしている。

この目標に対し、今後より効率的かつ効果的に取り組んでいくためには、食品安全委員会が自ら報道関係者や一般消費者に向けて情報発信やリスクコミュニケーションを行うだけではなく、地域の報道関係者や、事業者、学生、地域住民等に直接アクセスすることができる地方自治体等にも情報の発信・リスクコミュニケーションに、より積極的に参加してもらい、科学的に正しい情報の流通量を増やすことが必要と考えられる。ついては、現状を把握し、より効果的な情報発信やリスクコミュニケーションの手法・内容を検討するため、令和4（2022）年度に「食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に関する調査」として、自治体を実施するリスクコミュニケーションの目的の明確化や効果の測定の検討、食安委が実施したリスクコミュニケーション手法のレビューの他、諸外国のリスクコミュニケーションの動向調査などを実施したところである。

本年度は、当該調査結果を踏まえ、地方公共団体の食品衛生部門や消費者部門等と食品安全委員会が連携してより効果的、効率的な情報発信・リスクコミュニケーションを行うためのツールを開発した。

1.2 作業内容

- (1) 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

令和4年度の調査にて作成した地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールに盛り込むべき内容の骨子案を基に、情報発信・リスクコミュニケーションを行うためのツールを開発した。

- (2) 情報提供、リスクコミュニケーションの試行と効果の測定

(1)で検討した情報提供及びリスクコミュニケーションのツールを用いて3自治体（1都道府県、1政令指定都市、1中核都市）で情報提供を行い、効果を測定した。

- (3) 試行を踏まえた効果の測定方法の見直し、ツールの完成、ツール作成時の留意点のとりまとめ

(1)及び(2)の結果を分析し、必要に応じて効果の測定方法を見直すとともに、情報提供・リスクコミュニケーションのツール（資料、実施マニュアル等）を修正するとともに、自治体との意見交換を行い、ツールを完成させた。

- (4) 調査結果の報告等

本調査で得られた内容について、食品安全委員会委員及び事務局職員を対象とし、以下の通り報告会を開催した。

日 時：令和 6（2024）年 3 月 29 日（金） 場 所：食品安全委員会 会議室 及び Web 会議
--

- (5) 成果物の作成

以下の点に留意し、報告書を作成した。

- ① 調査報告書は、得られた内容を体系的に整理、分析を行い、図形等を用いて分かりやすいものにするよう努める。
- ② 調査報告書の冒頭に「調査の概要」として、調査内容や成果等について、要約を作成する。
調査報告書（製本版）は、日本産業規格 A 列 4 番（A4 サイズ）で作成する。
- ③ 調査報告書（DVD-R 等の電子媒体）は、PDF 形式（スキャンした場合は OCR 処理済み）及び編集可能な保存形式のファイル（ワード、エクセル、パワーポイント等）で作成する。
- ④ 成果物（案）が出来た段階で、速やかに事務局監督職員等と検討・調整を行う。

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

2. 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

令和4年度の調査結果を踏まえ、地方自治体が食品安全委員会と連携して行う情報発信・リスクコミュニケーションに資する以下のツールを作成した。

<作成したツール>

- ① 食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて
- ② 食品安全関係素材集
- ③ リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット
- ④ 情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット

各ツールの詳細は以下の通り。

① 食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて

ツール「食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて」では、特に「食品安全に関するリスクコミュニケーションに従事する担当者」向けに、食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて解説し、できることから着実に取り組んでいただく意識・知識を伝えることを目指した。

食品安全委員会が実施した地方自治体のリスクコミュニケーションに関するアンケートの結果、地方自治体にとっての情報提供・リスクコミュニケーションに関する最も大きな悩みが「効果が不明」であった¹ことから、令和4年度調査において、リスクコミュニケーション目的の明確化と効果の測定方法の検討を行った。

検討に際して、ツールの使用者を地方自治体の食品衛生部局等であると想定し、各地方自治体の組織の性質を踏まえ、地方自治体の食品衛生部局等が行うリスクコミュニケーションの大きな目的を「地域住民のよりよい健康」と位置づけた。そして、この目的を達成するためのリスクコミュニケーション活動を、リスクコミュニ

¹ 42%を占める。（令和4年度食品安全委員会・全国食品安全連絡会議 消費者庁・地方公共団体等食品安全担当職員研修会 合同会議資料より）

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

ケーションの機能（教育（知識獲得）、情報共有・交換、注意喚起、理解醸成、信頼関係構築、行動変容、参画、合意形成等）を踏まえて、3つの活動に分類²し、各活動及び各活動における媒体の使用時の効果測定指標を整理した。リスクコミュニケーションの目的及び3つの活動について、表1に示す。

表1 令和4年度調査結果「地方自治体を実施するリスクコミュニケーション」

地方自治体（食品衛生部局及び生活衛生部局）が実施するリスクコミュニケーションの目的 地域住民のよりよい健康		
目的達成のための3つの活動		
食品衛生部局等の活動	対象者	目標
1. 食品のリスク管理のための活動	事業者 消費者	<ul style="list-style-type: none">食品事故や食品由来の疾病の予防（注意喚起と行動変容）リスク管理業務の効率・効果向上
2. 食品安全を含む健康増進のための基盤づくり（連携体制構築）	部局内の自治体職員 その他関係者	<ul style="list-style-type: none">自治体内の多様な関係者の参画と協働様々なリスクに関する興味関心（問題認識）の向上
3. 食品に関する科学的知識の普及	事業者 消費者	<ul style="list-style-type: none">科学的根拠に基づくリスク事業者の意思決定支援科学的根拠に基づく消費者のリスク選択・意思決定支援消費者・事業者・自治体職員間の相互理解と関係構築

これら令和4年度に取りまとめた内容を整理して記載し、必要に応じて図表を追加し、ツールとしてまとめた。目次は以下の通り。

「3. 効果的なリスクコミュニケーションの実施に向けて」における「コミュニケーション手法の例及び効果を向上させるための工夫」ではセミナー形式のイベント、啓発ポスター・チラシ、SNSやWEBサイトによる情報公開・情報発信について例示した。

² 各活動に振った1~3の番号は、活動の優先度とし、特に優先度が高い活動を1とした。

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて<目次>

はじめに

1. 地方自治体（食品衛生部局等）が実施するリスクコミュニケーション
 - (1) リスクコミュニケーションとは何か
 - (2) 地方自治体（食品衛生部局等）が実施するリスクコミュニケーション
 - (3) リスクコミュニケーションの目的を達成するための3つの活動
2. リスクコミュニケーション活動の具体例及び効果測定指標
 - (1) 活動1 食品のリスク管理のための活動
 - (2) 活動2 食品安全を含む健康増進のための基盤づくり（連携体制構築）
 - (3) 活動3 食品に関する科学的知識の普及
 - (4) 各活動での手法・媒体の使用
3. 効果的なリスクコミュニケーションの実施に向けて
 - (1) 基本的な企画の手順
 - (2) コミュニケーション手法の例 及び 効果を向上させるための工夫

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

② 食品安全関係素材集

食品安全委員会では、科学的知見に基づくリスク評価を行っている。リスク管理の基盤であるリスク評価に関する適切な情報の整理及び提供は、地方自治体の行うリスクコミュニケーションに対し食品安全委員会が連携する際に果たすべき重要な役割でもある。

これまで食品安全委員会は、評価書や評価指針、用語集、意見交換会等資料の公開等、自治体等が主体となって行うリスクコミュニケーションの実施に向けた支援を行ってきたものの、自治体・団体等独自のリスクコミュニケーションの取組は広がり切れていない状況である。そこで、食品安全委員会が保有する上記コンテンツを、よりアクセスしやすく、より分かりやすいものとするために、ウェブサイトの改訂や充実を図ることとした。その一環として、「食品安全関係素材集」に着目した。

「食品安全関係素材集」は、食品安全委員会の Web サイトに掲載されている図表やデータ集であり、地方自治体の食品衛生部局等「食品安全に関する業務に従事する担当者」や保健所の食品衛生監視員の他、報道関係者や教育機関が、食品安全の啓発に用いられるパンフレットやポスター、記事等を作成するにあたり、活用してもらうことを目的としている。現状、微生物の電子顕微鏡写真や加熱調理に関する各種データや図表などを掲載しており、自治体に用いられることもある。

この「素材集」をさらに充実させ、リスクコミュニケーション資料作成作業の一助となるようなコンテンツを追加すること、ひいては科学的に正しい情報の流通量を増やすことを目的とした。

具体的には、食品安全委員会のホームページ上に掲載している「食品の安全性に関する用語集」（以下、「用語集」という。）の一部を充実させて素材集とした。

用語集は、食品健康影響評価を理解するために知っておいてほしい用語を整理したものであるが、ほとんどが説明文章のみであり、リスクコミュニケーションへの活用がしにくいことが課題であった。そのため、当該用語集に掲載されている用語のうち、重要性や使用頻度などを踏まえた優先順位の高い用語について、図等を付記した素材集を作成し、リスクコミュニケーション説明用資料への活用など、食品安全に関する情報提供・リスクコミュニケーションの中で用語の解説を行う際に使用していただくことを目指した。また、本素材集は学習用資料として用いられることも想定しており、部署内の新人教育などにも活用できるよう設計した。

今回、素材集を作成した用語は以下の通り。

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

食品安全関係素材集〈用語一覧〉

1. リスクアナリシス
 - ・ リスクアナリシス（リスク分析）
 - ・ リスク／ハザード
 - ・ リスク評価
 - ・ 手順① ハザードの特定（危害要因特定）
 - ・ 手順② ハザードの特性評価（危害要因判定）
 - ・ 手順③ ばく露評価
 - ・ 手順④ リスクの判定
 - ・ 自ら評価
 - ・ リスク管理
 - ・ リスクコミュニケーション

2. リスク評価
 - ・ リスク評価（食品健康影響評価）
 - ・ リスク評価の基本ステップ
 - ・ 定量的リスク評価と定性的リスク評価
 - ・ ALARA の原則
 - ・ 健康影響に基づく指標値
 - ・ 許容一日摂取量（ADI）
 - ・ 耐容一日摂取量（TDI）
 - ・ 急性参照用量（ARfD）
 - ・ POD
 - ・ 用量反応評価
 - ・ 無毒性量（NOAEL）
 - ・ 最小毒性量（LOAEL）
 - ・ ベンチマークドーズ法
 - ・ ベンチマークドーズの信頼下限値（BMDL）
 - ・ 閾値（いき値、しきい値）／TTC（毒性学的懸念の閾値）
 - ・ 安全係数
 - ・ 有害影響
 - ・ ばく露マージン（MOE）
 - ・ 疾病負荷
 - ・ カテゴリーアプローチ／リードアクロス

（次ページに続く）

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

(続き) 食品安全関係素材集<用語一覧>

2. リスク評価 (続き)

- ・ (定量的) 構造活性相関 (Q) SAR (キューサー)
- ・ 摂取時安全目標値 (FSO)
- ・ 有害 (性) 転帰経路 (AOP) / MOA

2. リスク評価 健康影響 (毒性)

- ・ 毒性
 - ・ 神経毒性
 - ・ 遺伝毒性
 - ・ 生殖発生毒性
 - ・ 発がん性
 - ・ 免疫毒性
- ・ エンドポイント (毒性指標) / トキシコキネティクス
- ・ 体内動態試験 (ADME 試験)
- ・ 代謝物 / 生物学的利用率 / 適応性変化 / 比重量、補正重量
- ・ トランスジェニック動物 (ノックインマウス / ノックアウトマウス)
- ・ LD50 (半数致死量)

2. リスク評価 疫学

- ・ 疫学 (疫学の研究手法)
- ・ 疫学上のリスク
- ・ 因果関係
- ・ バイアス
- ・ オッズ比
- ・ メタアナリシス

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

③ リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット

「リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット」は、リスクコミュニケーションイベントの企画・実施者が、双方向・対面のリスクコミュニケーションイベント（いわゆる意見交換会型）の企画・実施時に参考にしていただくことを目的としている。

自治体へのヒアリングにおいて、自治体ごとに状況は異なっていたものの、意見交換会型の企画立案、実行の経験がなく、どこから手を付ければいいのか分からない、準備の抜け漏れに不安があるなどの意見があったり、また実施例はあるものの、企画・実施に関する正式なマニュアルなどがなく、都度過去のファイルをたどったり、担当者間での口伝で実施していたりといった状況が見られた。これらの状況を踏まえ、いわゆる意見交換会型の企画に関するフォーマットを作成した。このフォーマットでは、イベントを企画するにあたり最も重要である達成すべき目標の明確化を中心に、分かりやすく伝えるための工夫などを盛り込み、作成した。

意見交換会型のリスクコミュニケーションは実際には様々なやり方があるが、一つの参考の形として取りまとめた。

ツールの目次は以下の通り。

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット<目次>

このツールキットについて

1. 企画

- (1) 企画書（フォーマット）への記入
- (2) 企画の留意事項と評価指標の確認
- (3) 双方向性を確保するための工夫の決定
- (4) 進め方と時間配分の検討
- (5) テーマに沿った資料やアンケートの作成
- (6) 進め方、資料の確認
- (7) コミュニケーションイベントの実施
- (8) コミュニケーションの評価と改善点の抽出

2. 情報提供資料作成

- (1) 食品安全委員会が作成し、地方自治体でも活用可能な資料
- (2) 資料作成の留意事項やポイント
 - ① 伝えたい情報や重要事項の明確化
 - ② 構成・説明の順番の検討
 - ③ 参加者の疑問や思考に沿った説明の仕方、構成上の工夫
(一般の方向け)
 - ④ スライドのデザインの工夫

参考資料1：企画書の補足

- (1) 参加者の満足（どんなイベントに満足感を感じるか）
- (2) 対象者（詳細）
- (3) 開催のねらい
- (4) テーマ（参考）

参考資料2：イベントに向けての準備

2 調査結果

2.1 地方自治体が食品安全委員会と連携して情報発信、リスクコミュニケーションを実施できるツールの開発

④ 情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット

「情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット」は、食品安全に関するイベントの企画・実施者が、自治体が行うリスクコミュニケーションの中でも作成する機会が多い、自治体独自の啓発ポスター・チラシ等作成時に参考にしていただくことを目的として取りまとめた。ポスター・チラシ等については、各自治体で保有している既存のものを使ったり、年度ごとに更新したりなど、自治体によって状況は様々であるが、チラシ等を作成するにあたり重要となる情報の優先順位（最も伝えたいメッセージ）の明確化に重点を置いてツールキットを構成した。また、参考までに配色等のデザインについても掲載した。

ツールの目次は以下の通り。

情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット<目次>

このツールキットについて

ツールキットでの企画・作成の手順

- (1) 企画書（フォーマット）への記入
- (2) 掲載する情報の整理
- (3) 情報の優先順位の設定
- (4) 「最も伝えたい・記憶に残してほしいこと」の検討
- (5) 掲載するメッセージや図表の準備
- (6) 配置・配色
- (7) わかりやすいデザインになっているかの確認

2.2 情報提供、リスクコミュニケーションの試行と効果の測定

(1) 情報提供及び効果の測定

作成したツールについて、食品安全委員会事務局との協議を行った上で、3自治体（1都道府県、1政令指定都市、1中核都市）において情報提供を行い、その効果について自治体に評価いただいた。評価結果については、意見交換の場において口頭にて伝達いただいた。

なお、情報提供を行った3自治体は、これまでに食品安全に関する情報提供・リスクコミュニケーションに関して個別に食品安全委員会との情報交換等を実施したことのある自治体であり、個別に依頼し対応いただいた。情報提供及び意見交換（自治体からの評価を含む）の日時について表2に示す。

効果について測定する項目は、内容の適切性及びわかりやすさ、想定する用途や有用性とし、改善点（課題）についてもあわせて収集した。

表2 情報提供及び意見交換を行った自治体（意見交換日時）

	自治体 A (都道府県)	自治体 B (政令指定都市)	自治体 C (中核市)
実施日時	2024年3月18日	2024年3月15日	2024年3月19日
形式	オンライン	オンライン	オンライン
対応者所属	生活衛生課	保健所 食品衛生課	保健所 衛生管理課

(2) ツールに対する評価結果

3自治体すべてから、ツールの内容の適切性については概ねよいとの評価を得たが、食品安全関係素材集については説明文に対する要望が寄せられた。

また、「食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて」及びツールキットについては具体例の追加の要望が、「食品安全関係素材集」については、現場での活用を見据えた情報の構造化・パッケージ化に対する期待が寄せられた。

具体的な評価等について以下に個別に記載する。

① 「食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて」の評価結果

ツール「食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションについて」は、地方自治体の食品安全に関する業務と比して違和感はなく、食品安全のリスクコミュニケーションの理解に資する内容であり、初心者向けの教材としても使用できると同時に、当該業務に関する他部署等との情報共有用資料としても期待できる。

令和4年度にとりまとめた評価指標についても、使えるものを選んで使用したい。情報共有型のリスクコミュニケーションの評価指標を知りたかったが、あまりないということがわかった。

<改善の要望>

- ・ リスクコミュニケーションが壮大な事業に思われぬように更に工夫があるとよい
- ・ 3つの活動の具体例について、更に追記してほしい
- ・ 特に評価など、活動上の優先順位が低い・必ずしも行う必要がないのであればその旨を書いてほしい。

② 「食品安全関係素材集」の評価結果

「食品安全関係素材集」は、食品安全に関する理解醸成に役立つものと思われる。また、具体的な用語に関する質疑応答時には使用できる場面があると想定される。ただし、食品衛生・管理の担当者であっても、各スライドを理解するには、それなりの時間がかかると見込まれる。

スライドあたりの文字数が多いことから、一般向けにそのまま使用するのはいかたがう。また、説明資料としての活用にも加工が必要になるため、地域の疑問・質問または地域での食品安全上の課題になっている具体的なハザードについての説明パッケージが欲しい。または実際の情報提供・リスクコミュニケーションでの説明の順序・方法がわかるように構造化されているとよい。

<改善の要望>

- ・ リスク評価について「様々な有害影響について評価している」ことが見えるとよい
- ・ 個別具体的³なハザードと関連付けた例示があるとよい

³ソルビン酸などの食品添加物、食中毒として機序が説明しづらいウェルシュ菌が挙げられた

2 調査結果

2.2 情報提供、リスクコミュニケーションの試行と効果の測定

- ・ 個別具体的なハザードに関する「説明例」が欲しい（情報の構造化・説明パッケージ）
- ・ 各用語の説明について「一言で説明するとどのようなものか」が簡単にまとまっていることが望ましい
- ・ 文章等が改変可能な形で利用できることよい。（ビジュアルのみの使用など）
- ・ 各用語について更に詳しく知りたい場合のリンク先、参照先の情報

③ 「リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット」の評価結果

「リスクコミュニケーションイベント企画用ツールキット」は、双方向・対面でのリスクコミュニケーションイベントを想定しているため、全ての地方自治体で活用可能なツールキットではないものの、いずれ双方向・対面でのイベントを実施する可能性を考えれば、心強いツールである。

また、リスクコミュニケーションイベントを実施している地方自治体及び担当者であっても、リスクコミュニケーションイベントの正解がつかめない・十分な時間がとれない状態でマニュアルの作成を行うことに困難を感じていた。人員の入れ替わりがあった場合は前任者の残した資料を解読しながら準備にあたることになるが、全体のイメージをつかむことができる資料として役立つ。細かい点にも配慮があり、有用である。

④ 「情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット」の評価結果

「情報発信用資料（啓発ポスター・チラシ等）作成ツールキット」も、厚生労働省・消費者庁の作成するチラシ・資料を利用する地方自治体では、使用機会がないものである。

しかし、地方自治体の担当者がリスクコミュニケーションイベントのチラシを作成するケースでは、有用な情報と言える。ただし、作成のノウハウの理屈を頭に入れても実際の作成作業に際しては都度悩むことになるため、視覚的・感覚的に「どのようにすればよいか」という点に更なる情報や支援が望まれる。

<改善の要望>

- ・ 具体的な「よい例」「悪い例」の例示が欲しい（色の使い方など）
- ・ より効果的なポスター掲示・チラシ配布方法が知りたい
- ・ 地方自治体は、事業者と消費者の両方との接点がある。肉の生食について「プ

2 調査結果

2.3 試行を踏まえた効果の測定方法の見直し、ツールの完成、ツール作成時の留意点のとりまとめ

「口だから安全」「テレビでやっていたから安全」との勘違いには悩まされることがあるが、そもそも危険な食べ物の提供を行わないようにするのも食品衛生・管理を担う部局の仕事である。また、事業者を悪者にするような表現にも見えてしまい、好ましくない

2.3 試行を踏まえた効果の測定方法の見直し、ツールの完成、ツール作成時の留意点のとりまとめ

2.2 にて実施した3自治体への情報提供及び意見交換の結果を基に、作成したツールの内容を追加・修正すると共に、ツールに関する留意点を取りまとめた。

今後、ツールを使用する地方自治体及び担当が増えるにあたり、更に様々な見解や要望が出てくることが想定される。

また、今回作成対象としなかったが、「具体的なハザードについての説明パッケージ」に対する要望もある。

その他、以下の情報について、要望があった。

<今回作成したツール以外の要望>

- ・ 講演等を依頼可能な講師のリストの提供または講師の紹介
- ・ これまでの食品安全委員会の説明資料、厚生労働省・消費者庁等の作成資料へのアクセス性の向上
- ・ 他自治体での情報提供・リスクコミュニケーションの好事例またはノウハウ（様々なイベントで食品販売を行う出展者への食品衛生の啓発・注意喚起方法等）の共有

以 上